

界磁喪失継電器

不足励磁から並列実行されている発電機を保護



DEIFの界磁喪失継電器は、他の発電機と並列運転されている発電機が不足励磁によって誘導発電機として実行されないように保護します。特に低電圧継電器の保護が十分でない場合には有用です。

この状況は、システムの残りの発電機が、障害のある発電機を磁化して端子電圧を維持するのに十分な無効電力を提供することによって起こります。

RMQはこのようにして、すべり周波数電流の流れのために起きる加熱に起因する損傷から発電機を保護し、それと同時に故障した発電機から無効電力の負荷が移転するのを防ぎます。

RMQの特長

- ▶ 励磁下における発電機保護
- ▶ ANSIコード40
- ▶ 単相測定
- ▶ タイマー制御トリッピング
- ▶ 障害/有効継電器のLED表示
- ▶ 35 mm DINレールまたはベースの取り付け

バリエーション

特長

RMQ-111D	界磁喪失。 -Q>: 0 ~ 25 %。 1 var 3 (4)。
RMQ-121D	過励磁。 Q>: 25 ~ 125 %。 1 var 3 (4)。

モデルの概要



RMQ-111D



RMQ-121D



www.deif.jp